



ハメ ドウースト



みんな ともだち!



Tehran Japanese School

学校便り「ハメドゥースト」
2022年度 第4号
2022年12月19日発行

苦しい思いもありながら・・・

～ 自信をつけた学習発表会 PART 1 ～

11月18日、3年ぶりとなる学習発表会を実施しました。新校舎での初めての発表会。合唱、器楽演奏、総合的な学習の発表、英語、ペルシャ語の発表、そして、全校児童生徒による劇。児童生徒は、全ての発表内容を頭に詰め込んで、不安と緊張とも戦いながらこの一日を創り上げました。



【児童生徒の感想より】

☆今までみんなと苦しい思いもありながら、この一日の学習発表会まで頑張って取り組んできました。劇では、最初の頃はすべて覚えられるか不安でした。でも今思えば楽しくできたり、その役になりきってやってみたりと最初の頃の自分とは違っていてわかりました。全ての発表が終わった時、みんなで「頑張ったね」「終わったね」などの声が響きうれしかったし、自信ができました。この成果をこれからの活動に生かしていきたいと思います。

☆私は緊張していた。学習発表会があったからだ。総合ではカスピ海の問題について発表した。ぎりぎりまで完成せずとても心配だった、しかし、先生に手伝ってもらったり、家で発表の練習をしたり、また発表前には友達が応援をしてくれたことで自信をもって発表することができた。英語では朗読の発表をした。話が長く覚えるのが大変だった。(中略)本番では少し間違えてしまったが、達成感を得ることができた。劇では、一人で四役を演じることや他の学年と合同の劇は初めてだった。また、今までで一番セリフが多かった。(中略)歌のソロパートや身振り手振りなどは恥ずかしかったけれど、本番楽しんで演技をすることができた。学習発表会が終わり、少し寂しくなったけれど、達成感を感じることもでき思い出に残る学習発表会になった。

☆「ウォー」と僕は叫びました。僕はライオン役です。うまく声を出すことができました。今日は学習発表会です。初めにトト役をしました。「ワン」と言いました。うまく言えました。次はいよいよライオン役のセリフです。ドキドキしました。魔女との戦いです。家来がとびかかってきてドロシーたちがつかまりました。ライオンの僕だけはずかまりませんでした。僕は鍋の水を魔女にかかけました。すると魔女は解けました。僕は魔女をやっつけました。僕は頑張りました。うまくできたと思います。

☆歌はちゃんときはき歌えてよかったです。アフリカンシンフォニーで、「タッタラッタ」のリズムが少し取れなかったけど、ゆりのさんがいたのでリズムもすぐに立て直しできてよかったです。(中略)ペルシャ語の発表では「アレフバーの歌」が少し言えなかったけど自己紹介はちゃんと言えたとし、校歌は間違えないで言えたので良かったです。

会場となった講堂は、旧校舎よりも狭くなりましたが、当日の児童生徒の堂々と、伸び伸びとした発表でそんな狭さも感じさせない見ごたえ、聴きごたえのある発表が続きました。児童生徒の感想は次号にも掲載しますが、満足感や充実感であふれています。およそ1か月の取り組み期間ではありましたが、一人一人覚えなくてはいけないこと、やらなくてはいけないことが盛りだくさんで、不安と緊張でいっぱいだったようですが、それを克服した発表会だったようです。

そんな彼らを支えてくれたのは、当日、参観いただいたご来賓の皆さまの温かい拍手や声援であり、保護者の皆さまの多大なご支援だったのではないかと思います。保護者の皆さまからは、発表会後大変多くの励ましの声や温かいメッセージが届いております。紙面の関係上すべてを掲載できないのは残念です。皆さまに支えられ子供たちが確実な一歩を踏み出した学習発表会でした。心より感謝申し上げます。

<保護者アンケートより>

☆家庭では全くそのような素振りは見えなかったのですが、今日に向けて日々精一杯準備練習を重ねてきたことが大変よく伝わってきました。子供たちがここまでできるんだと大変驚き、感動しました。すべてのプログラムが終わった後の子供たちのホッとした感じから、大きな達成感を得られたことがよく伝わってきました。子どもたちには今日の発表会をステップに一層成長して行ってほしいと思います。大変お疲れさまでした。

☆運動会に引き続きすばらしい感動をありがとうございました。それぞれの個性あふれる着眼点、誰一人やらされているという感じがなく、一人一人が全力で取り組んでいることがすばらしかったです。舞台袖での子供たちのかけ声等、純粋な気持ちが表れていましたね。先生方ありがとうございました。

☆人数が少ないからこそその心温まる発表ばかりでした、合唱では教員も加わるなど、日本ではありえないけど、少ないからこそ一人一人のスポットライトもよい経験ができたと思っています。先生方のご負担も相当なものだと思われれます。どうぞゆっくり静養される時間がありますように。本日はありがとうございました。

海外での思い出をより鮮明に残す!

☆☆2022年度海外子女文芸作品コンクールで2名が受賞☆☆

令和4年度の海外子女文芸作品コンクールにおいて、本校から2名の児童生徒が受賞しました。海外生活を画像で残すだけでなくこうした作品で残すことができるとより思い出は鮮明になるのではないかと思います。そんな海外生活での自分の思いやちょっとした場面を表現したすばらしい作品が今回受賞しました。

<俳句の部> 東京海上日動火災保険 賞

日本から筆箱届く春一番

(小学部5年 OOさん)

<短歌の部> 優秀賞

イラン人興味津々スマホ向け涼しい朝のラジオ体操

(中学部1年 OOさん)

およそ1か月近い取り組みの中で本当にできるのだろうかという思いを克服してやり遂げた学習発表会は、児童生徒の自信となったようです。